

民俗部会、上溝・大沢地区巡検行われる ～台風接近！の中で～

2005（平成17）年9月5日、民俗部会の部会員8名と調査補助員2名が参加して上溝・大沢地区の巡検を実施しました。当日は台風接近のため、前日の夕方までの夏の良い天気から打って変わり、朝から大荒れの天気で、事務局の市史編さん室としては実施か中止かの判断に迷いましたが、午後には台風が遠ざかって雨が弱くなるという天気予報を信じて、結局決行することとなりました。



上溝観音堂跡

金泉寺(下九沢)

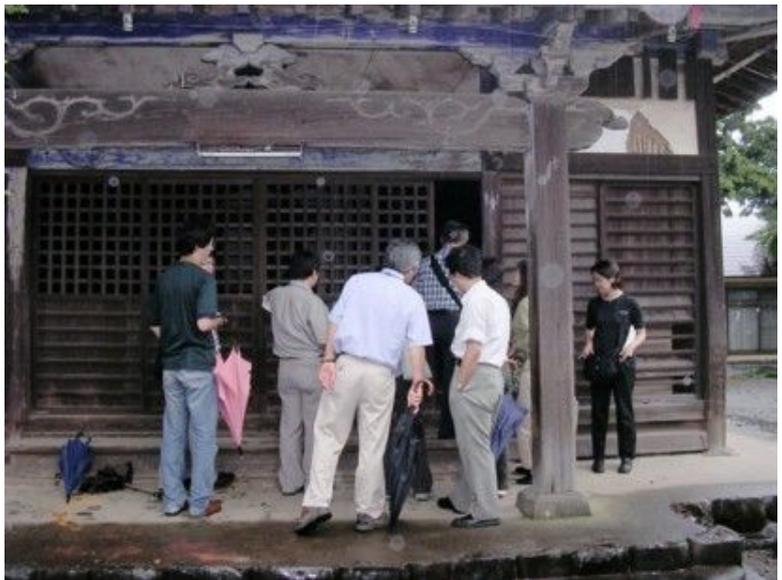


今回の巡検は上溝・大沢の2地区で、車での移動距離もかなりあるため、集合場所のグリーンホール相模大野を午前9時30分に出発し、上溝地区の番田諏訪神社から巡検を始めました。

この番田から上溝の街を抜け、下九沢方面へと向かうのですが、雨は幸いなことに小降りとなり、巡検中に神社、お寺、石仏、石碑等の写真を撮ったりすることもできました。上溝地区においては上溝の街中を歩いて巡検することもできました。(2ページへ続く)

午後1時過ぎには、下九沢のさがみはら北の丘センターに到着し、中の食堂で昼食を取りました。

相変わらずの雨の中、午後からは上九沢の梅宗寺を皮切りに大沢地区を巡検。特に、許可を得て見学した梅宗寺の観音堂（右写真）に興味を示していた部会員が多くあり、ぜひ調査してみたいという声が聞かれました。



その後、城山町に程近い大島諏訪神社を巡った後、田名地区と隣接した神沢不動尊を巡り、そこで今回の巡検を終了し帰途につきました。

この巡検で上溝・大沢地区の23地点を巡り、終日に渡り、熱心に上溝・大沢地区の概略の把握に努めました。今後は、地域の方にお会いするなどして、伝承の聞き取り等をすすめていきます。

市史編さん審議会委員を委嘱

市史編さん審議会委員の2年間の任期満了に伴い、平成17年7月31日付で、改めて以下の10名の方々に委嘱しました。

(五十音順・敬称略)

氏名	役職等
岩橋 清美	川崎市公文書館職員
白井 宏尚	神奈川大学常務理事
高橋 順一	桜美林大学国際学部教授
畠山 民子	青少年指導員
樋口 雄一	元神奈川県立公文書館郷土資料課長
藤川 まなみ	桜美林大学講師
松崎 笙子	女子美術大学名誉教授
山口 絹子	市民公募委員
山下 義幸	明治大学農学部教授
渡部 安	市民公募委員



委嘱式での小川市長のあいさつ

委嘱式は8月25日に開催され、小川市長から各委員に委嘱状が手渡されました。審議会の委員は様々な分野の学識経験者と市民公募委員で構成されています。この市民公募委員には7月5日に開かれた公募委員選考委員会の結果、山口絹子氏と渡部安氏の2名が選ばれました。

当日は委嘱式に引き続き、第1回の審議会が開催され、委員及び事務局職員の自己紹介の後、正副会長の選出が行われ、会長に山下義幸氏が、副会長には高橋順一氏が選任されました。

相模原ものモ/事典⑥

イベントと記念品

35年ぶりに日本国内で開催された万国博覧会「愛・地球博」も予想以上の入場者を迎え、無事閉幕したようです。夏休み等で訪れた方も多かったのではないのでしょうか。



相模原市広聴広報課所蔵

さて右上の写真は1992(平成4)年に開催された第9回全国都市緑化かながわフェア「グリーンウェーブ・相模原'92」の様子です。52日間の会期中に181万人の入場者がありました。そしてこうしたイベントに欠かせないのが、主におみやげ類として売られているキャラクターなどを印刷した記念品類です。左下の写真はグリーンウェーブの会場で入手したキーホルダーと灰皿ですが、10年以上経った今、部屋の飾り棚などにひっそりと置かれたままになっていたりします。イベントや観光地の記念品は買った時、おみやげとしてもらった時はうれしくても、やがて忘れられ、こうした片隅に追いやられる運命なのかもしれません。(主任 方波見 淳)

※市史編さん室では、戦後の相模原を象徴するような資料を収集しています。チラシやポスターなどの紙資料をはじめ、立体物などでも構いません。年末の大掃除などで何か見つかりましたら、御連絡いただくと幸いです。



「灰皿」のほか、「湯のみ」などもあった。

こちらは、1998(平成10)年の国体の時に販売していたマスコット人形。つまみがゼンマイに連動しており、カタカタ踊りだす。



市史講演会「考古学から見た古代国家形成の中の相模原」を開催

日時：平成17年11月12日(土曜日) 午後2時～3時30分(開場午後1時30分)

会場：相模原市立博物館大会議室

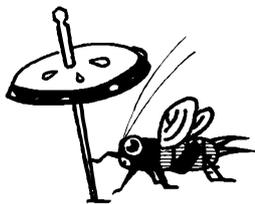
(高根3-1-15/JR 横浜線淵野辺駅南口下車徒歩20分/路線バスもあります)

講師：加藤 修さん(女子美術大学教授)

内容：古代国家成立までの相模原地域の遺跡を探り、古代的開発にふれてみます

対象：15歳以上(中学生を除く) 受講料：無料

定員：200人(当日先着順)



編さん室の動き (9月～10月)

月	日	内 容
9	1	市史編さんだより第26号発行
	2	近現代部会市政グループ打合せ
	5	民俗部会上溝・大沢地区巡検
		国立公文書館研修会に参加(9日まで)
	14	神史協研修会に参加(東京都内)
	15	農林水産政策研究所(東京)へ資料調査…写真
16	神奈川新聞に「本紙記事をDB(データベース)化」(市史編さんだより第26号「進む神奈川新聞記事の整理活用作業」についての紹介記事)が掲載される。	
10	4	電子文書保存システムについてヒアリング(本庁)
	7	農林水産政策研究所へ資料調査
	12	博物館防災訓練に参加
	15	近現代部会開催
	20	平成18年度当初予算要求書提出
	25～	農林水産政策研究所所蔵の相模原関係資料マイクロ写真撮影を実施
	26	民俗編大沢地区の聞き取り関係者へ調査協力依頼



以下の刊行物を販売しています。お求めは、市史編さん室又は相模原市役所行政資料コーナーへどうぞ。なお、送料実費負担で配送の取扱いもいたします。

刊行物名	価格	大きさ・ページ数	刊行時期
相模原市史現代図録編	1,500円	A4判・296ページ	平成16年11月
相模原市史第1～7巻	1,900～4,500円	A5判・578～842ページ	昭和39～47年
相模原市史ノート創刊号	350円	A5判・112ページ	平成16年3月
相模原市史ノート第2号	700円	A5判・104ページ	平成17年3月

「さがみはら市史編さんだより」第27号

発行 2005(平成17)年11月1日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-19 (市立博物館隣り)

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8039

E-MAIL : shishi@city.sagamihara.kanagawa.jp

ホームページ : <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp> (相模原市トップページ)

(市のプロフィール⇒市史編さんについて または
観光・文化⇒市史編さん の順で御覧になれます。)